

指定管理施設事業評価票(令和3年度分)

1. 施設所管課 教育委員会事務局生涯学習課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市小杉放菴記念日光美術館				
	所在地	日光市山内2388番地3				
指定管理者	名称	公益財団法人 小杉放菴記念日光美術館				
	代表者名	理事長 齋藤 孝雄				
	住所	日光市山内2388番地3				
指定期間		平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日			5 年間	
選定方法		非公募		評価実施年	5 年間のうち 3 年目	
施設設置目的		日光市ゆかりの画家小杉放菴を中心とした美術作品及び資料の収集、展示等を行い、市民の美術に関する知識と教養の向上を図り、文化の振興発展に寄与する。				
主な実施事業		・小杉放菴の作品をはじめとする美術品等の展示、収集、保管、貸出、調査研究に関する業務 ・教育普及に関する業務 ・美術館の利用許可に関する業務 ・美術品等の保管に関する業務 ・美術館の利用料金等の徴収に関する業務				

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a	入館者数	人	10,550	11,800	9,717	3,812	10,650	12,348				
b	アンケートの実施(満足度)	%	81.0	84.3	82.0	86.7	83	94				
c	入館料	円	3,355,000	3,062,260	3,202,000	1,539,790	3,586,000	6,101,220				
d												
e												

4. 指定管理業務にかかる収支状況

区分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入計 A		65,537,552	58,854,298	77,984,911	0	0
	指定管理料	56,798,000	53,914,072	53,550,000		
	利用料収入 C	3,062,260	1,539,790	6,101,220		
	自主事業収入	603,050	240,030	12,757		
	その他	5,074,242	3,160,406	18,320,934		
支出計 B		64,059,660	53,081,487	70,737,032	0	0
	指定事業費	62,842,060	52,864,987	70,712,332		
	内人件費 D	22,174,970	20,825,343	21,359,992		
	内外部委託費 E	21,271,454	15,192,986	21,436,226		
	自主事業費	1,217,600	216,500	24,700		
事業収支 A-B		1,477,892	5,772,811	7,247,879	0	0
人件費率 D/B		34.62%	39.23%	30.20%	#DIV/0!	#DIV/0!
外部委託比率 E/B		33.21%	28.62%	30.30%	#DIV/0!	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	
------	--

サービス改善の状況

・引き続き新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を講じた。

5. 管理運営状況

評価項目	評価基準	指定管理者 評価	所管課評価
① サービスの履行 の確認	法令に基づいた点検、報告の実施、個人情報への配慮、保守点検、清掃等の日常業務、緊急・災害時の市への円滑な連絡と協力等、業務の実施状況についての評価を行う。	B	B
② サービスの質の 評価	事故防止、安全確保、環境への配慮、利用者に対する接遇、苦情処理への適切な対応等、利用者に提供するサービスの質の水準を評価する。	B	B
③ サービスの安定性 の評価	専用の口座、帳簿等を備え、収支計画に沿って適切に経理、予算決算処理がなされているか評価を行う。	B	B
指定管理者所見 (成果・課題等)	【成果】 1 企画展の開催 ・夏休み期間の企画として、貼り絵の手法を用いて制作する絵本作家・せなけいこの絵本原画などを一堂に会し、彼女の創作の全貌をひもとく展覧会『『ねないこだれだ』誕生50周年記念 せなけいこ展』を開催した。なお、本展覧会は、特別企画展として9月5日までの開催を予定していたが、緊急事態宣言発令により8月22日をもって閉幕したが、入館者数 8,682人の入館を得た。 2. 教育普及事業の促進 ・文化芸術の振興に関する事業として、ギャラリートークを11回、ワークショップを1回、日光美術展「日光あーとさんぽ」を1回開催した。136人参加 ・学校児童生徒等を対象とした鑑賞教室等について、展覧会内容にあわせ、児童生徒の興味関心を高める鑑賞教室となるよう、進め方等を工夫しながら開催した。市内4校、市外3校243人参加 ・市内に林間学校等で訪れる学校児童生徒等を対象とした夜間開館を実施した。市外1校参加81人 ・市内の小中学校を対象とした移動美術展及び出前授業等については2校実施した。288人参加 3. 舞台芸術鑑賞事業の実施 美術だけでなく、さまざまな芸術文化の催しに触れる機会を提供する舞台芸術鑑賞事業として、正月特別開館に合わせた邦楽の生演奏を、新型コロナウイルス感染症対策を講じ実施した。 4. 地域連携事業 日光ユネスコ協会主催の「わたしのまちのたからもの展」事業に協力した。 5. 利便性の向上 美術館展覧会情報の他、付近の交通情報や降雪状況などをタイムリーにSNS上で発信した。 6. 安全対策 新型コロナウイルス対策として、昨年度に引き続き入館者の把握、パーティション、足元シール、消毒薬の設置や職員のマスク着用のほか施設内をこまめに除菌するなど迅速に対応したほか、展覧会では入場制限するなど、感染症感染・拡大防止の徹底に努めた。 【課題等】 1. 美術に関する教育普及事業における児童生徒の利用促進 児童生徒が興味関心の持てる美術鑑賞教室が提供できるよう、各学校へ個別にPRを積極的に行なうほか、ワークショップの内容の充実を図り教育普及に努める。 2. 舞台芸術鑑賞事業の充実 利用者のニーズを踏まえ、様々な分野のテーマをバランス良く取り上げ、安全対策を図りながら、引き続き、質の高い舞台芸術鑑賞の機会を企画するとともに、地域で活動するアーティストを積極的に活用する。		
施設所管課所見 (成果・課題等)	くん蒸作業により6月21日～7月4日、緊急事態宣言発令により8月24日～9月30日の間全館休館となったが、夏休み期間に企画した『『ねないこだれだ』誕生50周年記念せなけいこ展』では、期間中8,692人の入館者があり、ショップ売り上げも前年度実績より13,589,086円増となるなど、営業努力が見られた。 令和4年度は25周年記念であることから、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、昨年度と同様、入館者の増加を期待したい。		
前年総合評価	B	総合評価 ※3段階評価	B(良好)

※評価区分

評価基準	A (優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
	B (良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
	C (要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。	
総合評価	A (優良) = 自己評価、所管課評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B (良好) = A、C以外
	C (要改善) = 自己評価、所管課評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。